

longioribusque glanduloso-hirsuta.—Nom. Jap. *Aki-tsuriganetsutsuji* (nov.).

Hab. Hondo: Nabara-kyô, Kabe, Prov. Aki (T. Makino, 1928—holotype in Makino Herbarium).

This variety of *Menziesia ciliicalyx* is quite distinct and easily recognized from the typical plant because of the presence of the fine hairs on the under-surface of the leaves.

□ S. Seidenfaden & T. Stimson: **The orchid of Thailand**; A preliminary list, pt. 1, 1959. pt. 2-1, 1959. pt. 2-2, 1960. pt. 3, 1961 未完. pp. 516, fig. 381, color pls. 21, Siam Society Bangkok 60 年以上も前に William がタイ国ラン科 100 種ばかりを出版して以来、この国のラン科のまとまったものがなかった。著者の 1 人はデンマーク人、1 人はタイ国の森林官吏で 1956—59 年、ここで広く採集した。2 人共にランの専門家ではなく、また文献や古い標本を見難いので preliminary の形で発表したと書いてあるが、なかなかよくやってあって、新種などと思われるものも遠慮して命名せず番号のままになっている。ビルマ、マレー半島、旧印度支那に比したこの方面の穴をうめた好著である。(津山 尚)

□ Hui-Lin Li: **Woody flora of Taiwan** 974 pp. 371 figs. Morris Arboretum & Livingston Publ. Co. 1963 約 8,800 円 台湾に自生する木本植物をマニュアル形式で一冊にまとめた便利な本である。著者自身の見解によって 1030 種と多くの変種に整理し、新しい意見が各所に述べられている。属種への検索表と、おのおのについて記載分布が記され、また原著名と異名、それに主な新しい文献と代表的標本が引用されているので研究に使用する際大変役に立つ。属の大部分は図解されているが、なお不足は近年出版された劉棠瑞: 台湾木本植物図誌上(1960)下(1962)と併用すると興味深く参考になる。Fig. 289 と 290 が入れちがっていたり細かい点で一層の注意が望まれるが、体裁、印刷はよくできている。(原 寛)

□ 内藤 喬: **鹿児島島民俗植物記** 著者の肖像写真 2, 324 pp. 1964, 鹿児島大学農学部造林学教室同刊行会発行, ¥1,200 故内藤教授が多年にわたり収集された植物名の方言の集成で、詳しく採集地名が記してある。採集地の範囲は鹿児島県以外の他地方の方言も集録してある。また、それぞれの植物利用にもふれている。巻末には 26 pp. にわたる野草漫稿と題して万葉集の植物 22 種についての考察が収められている。また、和名索引、方言索引と鹿児島県市町村合併一覧表がつけ加えてある。(久内清孝)

□ 田中端雄: **釧路の植物** 194 pp. 口絵 2, 写真 132, 地図 1, グラフ 2, 1963, 釧路市発行, ¥500 (書店割引なきため一般書店では扱わない)。釧路地域の植物を生態的にまとめたもの。地区別にかいてあるので目録ではないけれども、巻末索引を見れば全植物がわかる。生態的に記録したものだけに「野地坊主」だの「野地眼」だのききなれない地形が説明されていて、北地景観に接することができておもしろい。(久内清孝)